

慶応三年六月一日より慶応三年六月六日まで

P8310688right

朝比奈(甲)へ昨日返書遣す、河内守殿御宅へ仏公使尋問、尤私事に付、御席へは不出、扣所に扣へ[□]る、右済て出[□]殿、兵庫大坂、御開し好報あり、薄晩前退出、旧婢のぶ嫁せしとて初て来り且弟を伴い奉公願の趣申聞し旨、寺山小君来る、周造請状申付る

二日申 晴漸濃陰

星野(宗)初て来り面す中、伊藤(幸)来る、牽入の馬引来り、此方[□]毛馬を引帰る、須崎より婚賀品(帷子三方)故為持遣す、石野[□]へ椅[□]子飯台等借用に遣す、出[□]殿、石野(□)より飯台を貸呉、川勝(江)より

明日仏公使来れる旨、為知越す

三日酉 晴雲

宅調、山本(次郎)来る、仏公使来問は約ありし処、斉限遅く相成により不来の旨、山口(駿)より伝言申越す

P8310688left

四日戌 晴

墨邸より便あり、夏[□]成分を遣す、富沢叔母来る、大助、保三転進後、初て御切米初[□]也とて鰻券(千[□]匹)

小品添贈らる、(保三)用立金百三十円の内五円分、前に五円、猶前に五拾円預け金持来す、出[□]殿五日亥 晴

服部(九)来る、初て面す、第一時半英館へ至り木村(兵)内田(恒)一同[□]引合[□]常本燈並御雇入[□]方給

料附属品等御買入代価受取方等の義也

六日子 雨意

宮沢(寛)初て来り面す、鈴木(斧直)同道来り面す、小花(作)来り支那桃苗二株を贈らる不面、松盛

齊稽古に来る、出[□]殿、取越米御勘定所添状相廻り候に付、蘭文添手形四枚札差へ遣す、[□]

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。22,7